

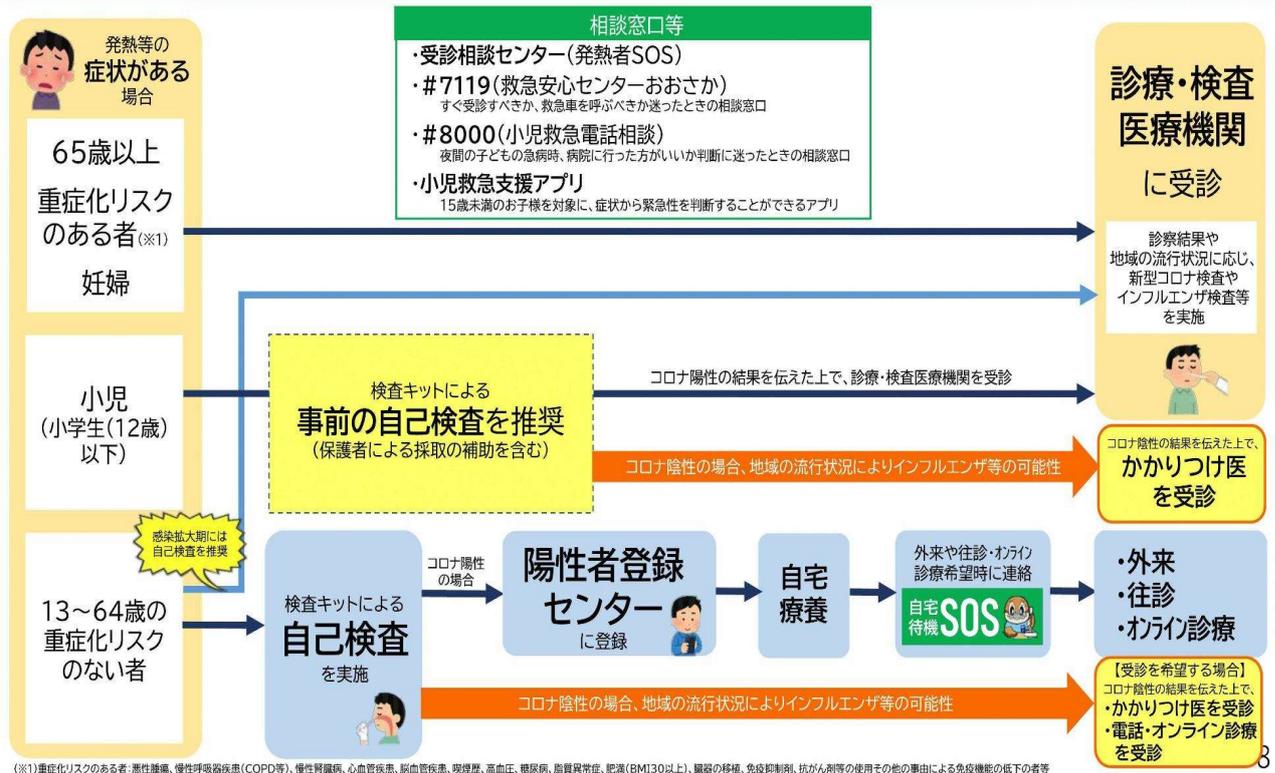


ほけんだより

さまざまな行動制限が緩和され、以前の生活に戻りつつありますが、その分、この3年間なりを潜めていた感染症も復活の兆しがあります。年末年始の休暇もあり、今後は一人一人の感染症対策が非常に重要になってきます。子どもは自身で自己防疫が十分にできないため、少しでも体調の変化等ありましたら、早めの受診をお願いします。

新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行下の外来受診の流れ

資料1 簡易版



いざという時のために今からできる備え

- 1.医療品として認証された新型コロナ抗原検査キットをご用意ください**
新型コロナの検査結果が陰性だった場合、季節性インフルエンザに罹患している可能性があります。
 - 2.ワクチン接種**
ワクチンには、重症化や発熱・せきなどの症状が出ること（発症）を防ぐ効果があります。新型コロナワクチンに加え、季節性インフルエンザワクチンの予防接種もぜひご検討ください。
 - 3.市販の解熱鎮痛薬などの常備をお願いします**
ご自宅で療養される場合に備え、市販の解熱鎮痛薬を用意しておきましょう。用法・用量を確認のうえ使用してください。
 - 4.1週間分を目安として、食料品や日用品を備蓄しておくで安心です**
食料品の例
 - ・水分補給ができるもの（スポーツ飲料、経口補水液、ゼリー飲料など）
 - ・体調がすぐれない時でも食べやすいもの（レトルトのおかゆ、パックごはん、うどんなど）
 - ・調理せずに簡単に食べられるもの（レトルト食品、缶詰、即席スープ、インスタント味噌汁、冷凍食品など）
- 小学生以下のお子様と保護者の方へ**
喉の痛みや発熱などの症状が出たら、かかりつけ医や地域の小児科などにご相談ください。

休日・夜間の体調不良・事故にも備えましょう

★ファストドクター（スマートフォンアプリからご利用ください）

全国の医療機関から構成されている時間外救急の総合窓口です。

症状に応じて救急病院案内や夜間休日往診、オンライン診療などの適切な医療を選択できるよう支援しています。24時間365日体制で連携、協力し活動しています。

【診療科目】内科（発熱・悪寒・めまい・動悸・血圧・嘔吐・下痢・便秘・胃腸痛・頭痛）
外科（切り傷・咬傷）
整形外科（捻挫・ぎっくり腰・骨折・打撲）
皮膚科（やけど・皮膚の痛み・アレルギー・蕁麻疹）

【検査】新型コロナPCR検査・インフルエンザ検査・アデノウイルス検査・溶連菌検査等

★小児救急電話相談 #8000（19時～翌朝8時・365日）

夜間子どもの急病時、病院に行くべきか判断に迷った時にご利用ください。

小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院などのアドバイスが受けられます。

★豊能広域こども急病センター ☎072-729-1981

【診療科目】小児科（中学生以下）

【診療時間】平日：19時～翌朝7時 土曜日：15時～翌朝7時
日、祝、年末年始：9時～翌朝7時

★大阪中毒 ☎072-727-2799（24時間、365日）

★豊中医療保健センター ☎6848-1661

庄内保健センター ☎6332-8558

【診療科目】内科・小児科・歯科

【診療時間】日、祝、年末年始：10時～17時



★Live119映像通報システム

従来の119番通報は音声のみの通報のため、通報者にとって詳細な状況を伝えることが困難な場合がありましたが、このシステムの導入により、音声に加えて現場の映像を指令センターに送ることができるようになります。

- ・通報者は映像を送信することで、言葉では説明しづらい現場の状況を伝えることができます。
- ・指令センターで火事や交通事故等の現場状況が映像で分かるため、早期に消防隊を増やしたり、消防隊に状況を伝えることができます。
- ・応急手当の方法がわからない場合でも指令センターから送信する動画を見ながら応急手当が実施できます。

12月の予定



衛生調べ 12/1（木） 全園児

発育測定 12/14（水）うさぎ・くま
12/15（木）りす・ぞう
12/16（金）ひよこ・きりん

内科検診 12/20（火）全園児



